

6.機械の運転操作

6.1.運転前の確認と作業

機械の運転前には2.4.乾燥を上手に行うための注意事項を参照して、次の各部の確認と作業を行ってください。

危険

高所作業は、必ず購入先に依頼してください。

注意

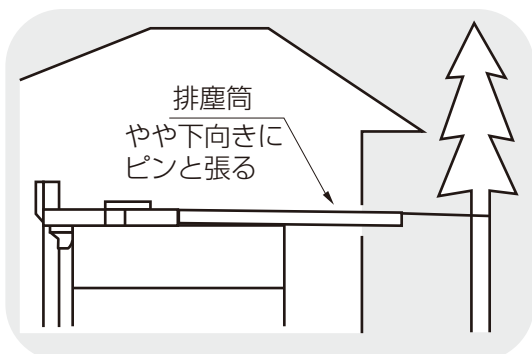
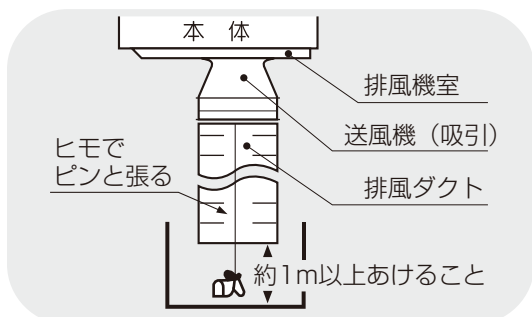
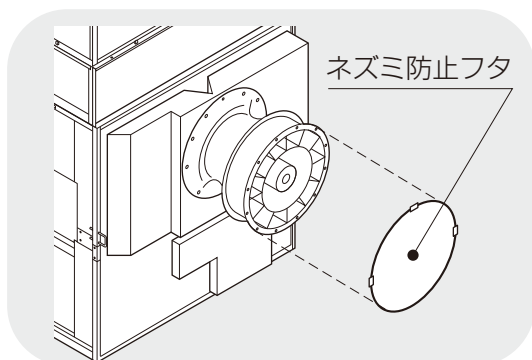
- はずしたカバー、点検窓は、必ず元どおりに取り付けてください。
- 周囲の安全を確認してから、運転を始めてください。

注意

ネジがしっかり締付けてあることを確認してください。

注意

機械を深夜運転する場合は、騒音で近所に迷惑をかけないように配慮してください。



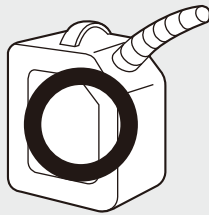
① 排風ダクトの確認

- ネズミ防止フタがはずれていることを確認してください。
- 排風ダクトは送風機からまっすぐ延びていて、途中で折れ曲がっていないこと、及び風よけから1m以上離れていることを確認してください。

② 排塵筒

- 排塵筒が途中で曲がらないように引張ってあることを確認してください。

JIS 1 号灯油



ガソリン・軽油



③ 給油

- 燃料タンクにJIS 1 号灯油（白灯油）を給油してください。
- こぼれたJIS 1 号灯油（白灯油）は必ずきれいにふき取ってください。



危険

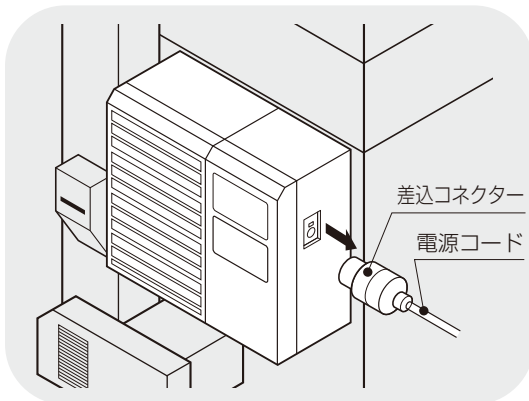
- 燃料はJIS 1 号灯油（白灯油）を使用してください。
- 軽油・ガソリンは火災の原因になりますから、絶対に使用しないでください。

④ カバーの確認

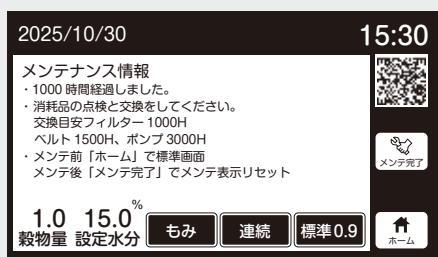
- 各カバーが取付けてあることを確認してください。

⑤ 電源コードの確認

- 乾燥機に接続している電源コードの被覆に異常がないか、コネクタに破損はないか確認してください。



メンテナンス情報画面



- 電源を入れた際、1000時間ごとにメンテナンス情報画面を表示します。購入先に点検を依頼してください。
- 点検が終了しましたら、メンテナンス情報画面の表示中に「メンテ完了」ボタンを押してください。
- QRコードを読み取ることでメンテナンスについてのお知らせをご覧いただけます。

6. 機械の運転操作

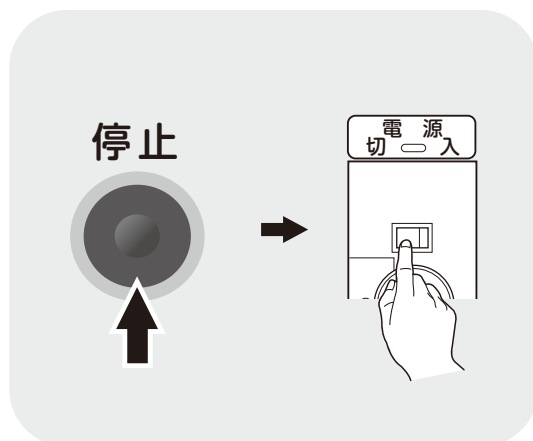


⑥ 回転方向の確認

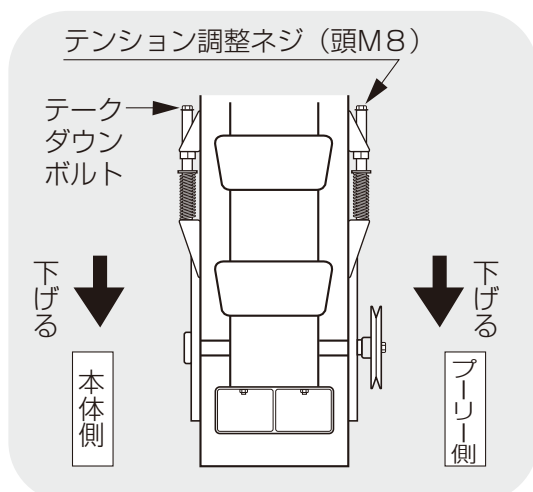
- コントロールボックスの電源スイッチを『入』にします。モニターが運転ボタンを表示します。
- 張込ボタンを押します。ピピピと警告音が鳴り、モーターが回ります。
- 昇降機の点検窓でバケットの進行方向を確認します。上に向かって動いていれば、回転方向が合っています。モニターは『張込・送風』を表示します。

注 意

回転方向が逆の場合には、購入先に変更を依頼してください。

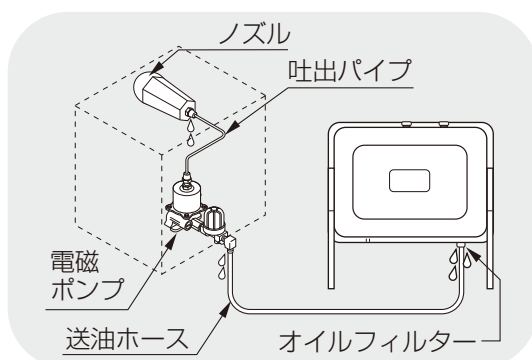
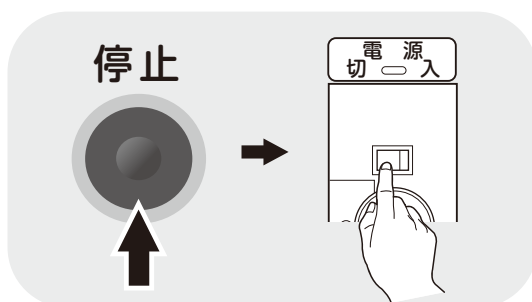


- 停止ボタンを押し、電源スイッチを『切』にします。
- モニター表示が消えます。



⑦ 昇降機の確認

- ⑥の確認のとき、昇降機からカタカタ音がした場合は、昇降機のバケットベルトの張りを調整します。
- 調整の仕方は10.1.バケットベルトの張り調整を参照してください。



⑧ バーナーの点火確認

- 燃料タンクのコックが開いていることを確認します。
- コントロールボックスの電源スイッチを『入』にします。
- 穀物量ツマミを回して、穀物量表示を1.0にセットします。
- 乾燥ボタンを押します。
- ピピピピと警告音が鳴ります。
- 各モーターが回ります。
- モニターは、「温度・水分、時刻、水分分布グラフ」を繰返し表示します。
- バーナーは10～20秒後に点火します。
- その後しばらくすると、消火、燃焼を繰返します。
- 一度で点火しない場合は、停止ボタンを押し、もう一度乾燥ボタンを押してください。それでも点火しない場合は、この作業を何回か繰返してください。

- 点火の確認が済んだら、停止ボタンを押します。自動冷却運転終了の後に電源スイッチを『切』にします。

- 燃料配管に油もれがないことを確認してください。

危険

燃料配管に油漏れがある場合は、運転をやめ購入先に点検・修理を依頼してください。